

平成16事業年度決算について

本学においては、6月末に平成16年度の財務諸表及び決算報告書等を文部科学大臣に提出し、8月29日付けで文部科学大臣の承認を受けました。この決算は、本学が国立大学法人後初めての決算であり、企業会計原則をベースとした教育・研究という国立大学の特性に配慮した特有の会計処理を施した「国立大学法人会計基準」に基き作成したものであり、広く国民の皆様には本学の財政状態、運営状況をご理解いただくため、ここに公表いたします。

<平成16年度決算の概要>

本学の平成16年度決算の概要は、「貸借対照表」において、資産の合計が約215億6千6百万円となっており、また、「損益計算書」において、経常収益の総額は約75億2千2百万円、経常費用の総額は約73億1千3百万円、差し引き経常利益は約2億9百万円となっており、これに臨時損失の総額約7億2千7百万円と臨時利益の総額約7億1千9百万円の差額8百万円を差し引いた当期総利益は約2億1百万円となっています。

当期総利益については、国立大学法人への移行に伴い国から承継した前納授業料の収入、従来の現金主義から発生主義に会計ルールが変更となり発生した棚卸し資産などを収益として計上したものが含まれており、本学の運営の効率化等、経営努力を図ったものは約1億4千1百万円となっています。

なお、当期総利益の約2億1百万円については、別途、国立大学法人法に基き経営努力の認定を受ける必要があるため、「利益の処分に関する書類(案)」により文部科学大臣に申請しているところであり、認定を受けた後は、目的積立金として、平成17年度以降に中期計画に定めた教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる所存であります。

今後とも、本学における研究と教育の充実・発展のために、財政基盤を強化し、研究・教育に係る経費を充実させるとともに、その質の向上に資するよう一層努力してまいりますので、ご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学